

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己 P R ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己 P R 作成①
	5	自己 P R 作成②
	6	自己 P R 作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（基礎編）
	2	収益と費用（基礎編）
	3	棚卸資産（基礎編）
	4	現金預金（基礎編）
	5	債権・債務等（基礎編）
	6	有価証券①（基礎編）
	7	有価証券②（基礎編）
	8	固定資産①（基礎編）
	9	固定資産②（基礎編）
	10	固定資産③（基礎編）
	11	固定資産④（基礎編）
	12	為替換算会計①（基礎編）
	13	為替換算会計②（基礎編）
	14	引当金（基礎編）
	15	法人税等①（基礎編）
	16	法人税等②（基礎編）
	17	株式会社の純資産（基礎編）
	18	企業結合（基礎編）
	19	確認テスト（第1回）
	20	株主資本等変動計算書（基礎編）
	21	連結会計①（基礎編）
	22	連結会計②（基礎編）
	23	連結会計③（基礎編）
	24	連結会計④（基礎編）
	25	連結会計⑤（基礎編）
	26	連結会計⑥（基礎編）
	27	本支店会計（基礎編）
	28	製造業を営む会社の決算処理
	29	伝票と帳簿（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級簿記総合Ⅰ		
実務家教員	○		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38 総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39 総合問題演習⑨（テスト形式_基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40 総合問題演習⑩（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41 総合問題演習⑪（テスト形式_基礎編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42 総合問題演習⑫（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43 総合問題演習⑬（テスト形式_基礎編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44 総合問題演習⑭（テスト形式_基礎編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45 総合問題演習⑮（テスト形式_基礎編）
	16	工業簿記総まとめ①（基礎編）	
	17	工業簿記総まとめ②（基礎編）	
	18	工業簿記総まとめ③（基礎編）	
	19	工業簿記総まとめ④（基礎編）	
	20	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	
	21	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	
	22	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	
	23	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	
	24	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	
	25	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	
	26	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）	
	27	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）	
	28	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）	
	29	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）	
	30	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	1 年次			
開講区分	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間	1 2 0 時間			
授業回数	6 0 回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	1 2 0 時間		
授業回数	6 0 回		
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31 株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32 減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33 配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34 圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35 外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36 退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37 繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38 為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39 仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40 消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41 他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42 外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43 リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44 証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45 ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46 売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47 製造業会計（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48 研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49 新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50 キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51 損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52 貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53 資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54 棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55 連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56 引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57 会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58 金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59 収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス実務入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する	
授業の進め方	実践的な知識を学ぶ	
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	職場での心構え①
	2	職場の心構え②
	3	職場に必要な能力①
	4	職場に必要な能力②
	5	職場の役割と機能①
	6	職場の役割と機能②
	7	秘書の職務①
	8	秘書の職務②
	9	企業の基礎知識①
	10	企業の基礎知識②
	11	企業組織の活動①
	12	企業組織の活動②
	13	社会常識①
	14	社会常識②
	15	社会常識③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス実務応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する	
授業の進め方	実践的な知識を学ぶ	
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	人間関係と話し方・聞き方①
	2	人間関係と話し方・聞き方②
	3	人間関係と話し方・聞き方③
	4	人間関係と話し方・聞き方④
	5	敬語と接遇用語①
	6	敬語と接遇用語②
	7	敬語と接遇用語③
	8	敬語と接遇用語④
	9	電話応対①
	10	電話応対②
	11	電話応対③
	12	電話応対④
	13	来客応対①
	14	来客応対②
	15	来客応対③
	16	来客応対④
	17	交際業務①
	18	交際業務②
	19	ビジネス文書の作成①
	20	ビジネス文書の作成②
	21	ビジネス文書の作成③
	22	ビジネス文書の作成④
	23	文書・資料管理①
	24	文書・資料管理②
	25	日程管理①
	26	日程管理②
	27	日程管理③
	28	日程管理④
	29	環境整備①
	30	環境整備②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学入門Ⅰ			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必須			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	31	商品売買等①（入門編）
	2	有価証券（入門編）	32	商品売買等②（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	33	商品売買等③（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）	34	本支店会計①（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）	35	本支店会計②（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）	36	本支店会計③（入門編）
	7	リース取引①（入門編）	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	8	リース取引②（入門編）	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	資本連結①（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）	40	資本連結②（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）	41	資本連結③（入門編）
	12	繰延資産（入門編）	42	資本連結④（入門編）
	13	社債（入門編）	43	成果連結①（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）	44	成果連結②（入門編）
	15	退職給付①（入門編）	45	成果連結③（入門編）
	16	退職給付②（入門編）		
	17	資産除去債務①（入門編）		
	18	資産除去債務②（入門編）		
	19	純資産①（入門編）		
	20	純資産②（入門編）		
	21	純資産③（入門編）		
	22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）		
	23	ストック・オプション①（入門編）		
	24	ストック・オプション②（入門編）		
	25	税効果会計①（入門編）		
	26	税効果会計②（入門編）		
	27	税効果会計③（入門編）		
	28	外貨建取引①（入門編）		
	29	外貨建取引②（入門編）		
	30	外貨建取引③（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容				
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ				
実務家教員	○				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース				
履修年次	1 年次				
開講区分	前期				
科目区分	選択必須				
授業方法	講義				
授業時間	9 0 時間				
授業回数	4 5 回				
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）	31	業務的意思決定②（入門編）	
	2	費目別計算①（入門編）	32	業務的意思決定③（入門編）	
	3	費目別計算②（入門編）	33	業務的意思決定④（入門編）	
	4	部門別計算①（入門編）	34	業務的意思決定⑤（入門編）	
	5	部門別計算②（入門編）	35	業務的意思決定⑥（入門編）	
	6	部門別計算③（入門編）	36	構造的意思決定①（入門編）	
	7	部門別計算④（入門編）	37	構造的意思決定②（入門編）	
	8	部門別計算⑤（入門編）	38	構造的意思決定③（入門編）	
	9	部門別計算⑥（入門編）	39	構造的意思決定④（入門編）	
	10	個別原価計算①（入門編）	40	構造的意思決定⑤（入門編）	
	11	個別原価計算②（入門編）	41	構造的意思決定⑥（入門編）	
	12	個別原価計算③（入門編）	42	戦略的原価計算①（入門編）	
	13	総合原価計算④（入門編）	43	戦略的原価計算②（入門編）	
	14	総合原価計算⑤（入門編）	44	戦略的原価計算③（入門編）	
	15	総合原価計算⑥（入門編）	45	戦略的原価計算④（入門編）	
	16	総合原価計算⑦（入門編）			
	17	総合原価計算⑧（入門編）			
	18	標準原価計算①（入門編）			
	19	標準原価計算②（入門編）			
	20	標準原価計算③（入門編）			
	21	標準原価計算④（入門編）			
	22	標準原価計算⑤（入門編）			
	23	直接原価計算（入門編）			
	24	短期利益計画①（入門編）			
	25	短期利益計画②（入門編）			
	26	短期利益計画③（入門編）			
	27	予算管理①（入門編）			
	28	予算管理②（入門編）			
	29	予算管理③（入門編）			
	30	業務的意思決定①（入門編）			
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎 I	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）
	7	標準原価計算③（基礎編）
	8	予算管理（基礎編）
	9	業務的意思決定①（基礎編）
	10	業務的意思決定②（基礎編）
	11	構造的意味決定①（基礎編）
	12	構造的意味決定②（基礎編）
	13	戦略的原価計算（基礎編）
	14	事業部制①（基礎編）
	15	事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学総合 I			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	1 年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択必須			
授業方法	演習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯		
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰		
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱		
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲		
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳		
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑		
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒		
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓		
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔		
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕		
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	1級原価計算総合 I				
実務家教員	○				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース				
履修年次	1 年次				
開講区分	後期				
科目区分	選択必須				
授業方法	演習				
授業時間	9 0 時間				
授業回数	4 5 回				
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）	
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）	
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）	
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）	
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）	
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）	
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）	
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）	
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）	
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）	
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）	
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）	
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）	
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）	
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）	
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯			
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰			
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱			
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲			
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳			
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑			
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒			
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓			
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔			
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕			
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）			
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）			
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）			
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）			
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）			
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択必須		
授業方法	講義		
授業時間	9 0 時間		
授業回数	4 5 回		
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総論①（基礎編）	31 株式会社の純資産①（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	32 株式会社の純資産②（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33 株式会社の純資産③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34 企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35 株主資本等変動計算書①（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	36 株主資本等変動計算書②（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	37 連結会計①（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	38 連結会計②（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	39 連結会計③（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	40 連結会計④（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	41 連結会計⑤（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	42 連結会計⑥（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	43 連結会計⑦（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	44 連結会計⑧（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	45 連結会計⑨（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）	
	17	固定資産②（基礎編）	
	18	固定資産③（基礎編）	
	19	固定資産④（基礎編）	
	20	固定資産⑤（基礎編）	
	21	固定資産⑥（基礎編）	
	22	為替換算会計①（基礎編）	
	23	為替換算会計②（基礎編）	
	24	為替換算会計③（基礎編）	
	25	引当金①（基礎編）	
	26	引当金②（基礎編）	
	27	引当金③（基礎編）	
	28	法人税等①（基礎編）	
	29	法人税等②（基礎編）	
	30	法人税等③（基礎編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ				
実務家教員					
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース				
履修年次	1 年次				
開講区分	前期				
科目区分	選択必須				
授業方法	講義				
授業時間	9 0 時間				
授業回数	4 5 回				
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算①	
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	32	標準原価計算②	
	3	材料費会計①	33	標準原価計算③	
	4	材料費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①	
	5	労務費会計①	35	原価・営業量・利益関係の分析②	
	6	労務費会計②	36	工場会計の独立	
	7	経費会計	37	直接原価計算①	
	8	製造間接費会計①	38	直接原価計算②	
	9	製造間接費会計②	39	確認テスト（第2回）	
	10	単純個別原価計算①	40	工業簿記総まとめ①	
	11	単純個別原価計算②	41	工業簿記総まとめ②	
	12	単純個別原価計算③	42	工業簿記総まとめ③	
	13	部門別計算①	43	工業簿記総まとめ④	
	14	部門別計算②	44	工業簿記総まとめ⑤	
	15	部門別計算③	45	工業簿記総まとめ⑥	
	16	確認テスト（第1回）			
	17	工企業の財務諸表①			
	18	工企業の財務諸表②			
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）			
	20	総合原価計算①			
	21	総合原価計算②			
	22	総合原価計算③			
	23	総合原価計算④			
	24	総合原価計算⑤			
	25	総合原価計算⑥			
	26	工程別総合原価計算①			
	27	工程別総合原価計算②			
	28	組別総合原価計算			
	29	等級別総合原価計算①			
	30	等級別総合原価計算②			
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級簿記総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間		
授業回数	4 5 回		
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	31 総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	32 総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	33 総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	34 総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	35 総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	36 総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	37 総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	38 総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	39 総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	40 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	41 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	42 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	43 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	44 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	45 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）	
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）	
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）	
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）	
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）	
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）	
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）	
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）	
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）	
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）	
	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）	
	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）	
	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	
	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	
	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級簿記総合Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間		
授業回数	4 5 回		
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	31 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	32 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	33 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	34 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	35 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	36 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	37 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	38 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	39 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	40 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	41 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	42 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	43 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	44 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	45 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）	
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）	
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）	
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）	
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）	
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）	
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）	
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）	
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）	
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）	
	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）	
	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）	
	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）	
	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）	
	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必須		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	1 2 0 時間		
授業回数	6 0 回		
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経総合編）	31 総合問題対策①（全経総合編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経総合編）	32 総合問題対策②（全経総合編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経総合編）	33 総合問題対策③（全経総合編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（全経総合編）	34 総合問題対策④（全経総合編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経総合編）	35 総合問題対策⑤（全経総合編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経総合編）	36 総合問題対策⑥（全経総合編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経総合編）	37 総合問題対策⑦（全経総合編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経総合編）	38 総合問題対策⑧（全経総合編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経総合編）	39 総合問題対策⑨（全経総合編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経総合編）	40 総合問題対策⑩（全経総合編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経総合編）	41 総合問題対策⑪（全経総合編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経総合編）	42 総合問題対策⑫（全経総合編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経総合編）	43 総合問題対策⑬（全経総合編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経総合編）	44 総合問題対策⑭（全経総合編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経総合編）	45 総合問題対策⑮（全経総合編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経総合編）	46 総合問題演習①（テスト形式）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経総合編）	47 総合問題演習①（テスト形式）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経総合編）	48 総合問題演習①（テスト形式）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経総合編）	49 総合問題演習②（テスト形式）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経総合編）	50 総合問題演習②（テスト形式）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経総合編）	51 総合問題演習②（テスト形式）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経総合編）	52 総合問題演習③（テスト形式）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経総合編）	53 総合問題演習③（テスト形式）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経総合編）	54 総合問題演習③（テスト形式）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経総合編）	55 総合問題演習④（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経総合編）	56 総合問題演習④（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経総合編）	57 総合問題演習④（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経総合編）	58 総合問題演習⑤（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経総合編）	59 総合問題演習⑤（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経総合編）	60 総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	収益性分析
	2	安全性分析
	3	一般原則等①
	4	一般原則等②
	5	損益計算書原則等
	6	損益計算書の表示区分①
	7	損益計算書の表示区分②
	8	貸借対照表原則等①
	9	貸借対照表原則等②
	10	資産会計(金融資産)
	11	資産会計(棚卸資産)
	12	資産会計(固定資産)
	13	資産会計(繰延資産等)
	14	負債会計①
	15	負債会計②
	16	帳簿組織
	17	純資産会計等
	18	外貨建取引会計
	19	税効果会計
	20	企業結合会計
	21	連結会計①
	22	連結会計②
	23	キャッシュ・フロー会計①
	24	キャッシュ・フロー会計②
	25	会計上の変更と誤謬の訂正
	26	概念フレームワーク①
	27	概念フレームワーク②
	28	概念フレームワーク③
	29	概念フレームワーク④
	30	概念フレームワーク⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算
	2	部門別計算
	3	個別原価計算
	4	総合原価計算①
	5	総合原価計算②
	6	総合原価計算③
	7	標準原価計算①
	8	標準原価計算②
	9	標準原価計算③
	10	直接原価計算
	11	短期利益計画
	12	予算管理
	13	事業部制
	14	業務的意思決定①
	15	業務的意思決定②
	16	構造的意意思決定①
	17	構造的意意思決定②
	18	構造的意意思決定③
	19	戦略的原価計算①
	20	戦略的原価計算②
	21	工場会計の独立
	22	工業簿記・原価計算総まとめ①
	23	工業簿記・原価計算総まとめ②
	24	工業簿記・原価計算総まとめ③
	25	工業簿記・原価計算総まとめ④
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑤
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑥
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑦
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑧
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	非課税①（入門編）
	5	非課税②（入門編）
	6	輸出免税等①（入門編）
	7	輸出免税等②（入門編）
	8	資産の譲渡等の時期（入門編）
	9	控除対象仕入税額①（入門編）
	10	控除対象仕入税額②（入門編）
	11	売上に係る対価の返還等（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（入門編）
	2 課税仕入れ等の時期②（入門編）
	3 課税売上割合①（入門編）
	4 課税売上割合②（入門編）
	5 課税期間における課税売上高①（入門編）
	6 課税期間における課税売上高②（入門編）
	7 課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	8 課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	9 仕入れに係る対価の返還等（入門編）
	10 納税義務の免除（入門編）
	11 国境を越えた役務の提供①（入門編）
	12 国境を越えた役務の提供②（入門編）
	13 国境を越えた役務の提供③（入門編）
	14 中間申告に係る納付税額の計算（入門編）
	15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	2	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	3	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	納税義務の免除の特例①（入門編）
	8	納税義務の免除の特例②（入門編）
	9	納税義務の免除の特例③（入門編）
	10	納税義務の免除の特例④（入門編）
	11	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）
	15	課税標準①（入門編）
	16	課税標準②（入門編）
	17	簡易課税制度①（入門編）
	18	簡易課税制度②（入門編）
	19	簡易課税制度③（入門編）
	20	簡易課税制度④（入門編）
	21	軽減税率①（入門編）
	22	軽減税率②（入門編）
	23	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	24	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	25	複数税率の場合の計算①（入門編）
	26	複数税率の場合の計算②（入門編）
	27	国等に対する特例①（入門編）
	28	国等に対する特例②（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的(入門)
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで(入門)
	3	強制換価手続(入門)
	4	担保の種類(入門)
	5	滞納処分の概要(入門)
	6	国税に優先する権利(入門)
	7	国税相互間の優先関係(入門)
	8	財産の調査(入門)
	9	最優先される被担保債権(入門)
	10	法定納期限等(期限内申告に係る国税)(入門)
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権(入門)
	12	不動産賃貸の先取特権等(入門)
	13	法定納期限等(期限後・修正、更正・決定等)(入門)
	14	譲受前にある担保権(入門)
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収(入門)
	16	差押の制限等、解除(入門)
	17	差押の共通手続(入門)
	18	第三者からの差押換え(入門)
	19	差押換え(換価申立ての細部)(入門)
	20	相続人からの差押換え(入門)
	21	動産又は有価証券の差押え(入門)
	22	第三者が占有する動産等の差押手続(入門)
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護(入門)
	24	国税徴収法第26条の計算(入門)
	25	債権の差押え(入門)
	26	不動産等の差押え(入門)
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え(入門)
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え(入門)
	29	国税徴収法第24条(譲渡担保)(入門)
	30	確認テスト(入門)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	4	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	5	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	6	保険金Ⅰ①（入門編）
	7	保険金Ⅰ②（入門編）
	8	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	9	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	10	減損会計Ⅰ①（入門編）
	11	減損会計Ⅰ②（入門編）
	12	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	13	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	14	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	15	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	16	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	17	リース会計Ⅰ①（入門編）
	18	リース会計Ⅰ②（入門編）
	19	試用販売Ⅰ①（入門編）
	20	試用販売Ⅰ②（入門編）
	21	試用販売Ⅰ③（入門編）
	22	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	23	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	24	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	25	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	26	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	27	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	28	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	29	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎）
	3	分配可能額①（入門・基礎）
	4	分配可能額②（入門・基礎）
	5	ストック・オプション①（入門・基礎）
	6	ストック・オプション②（入門・基礎）
	7	セール&リースバック①（入門・基礎）
	8	セール&リースバック②（入門・基礎）
	9	財務諸表等規則①（入門・基礎）
	10	財務諸表等規則②（入門・基礎）
	11	負債①（入門・基礎）
	12	負債②（入門・基礎）
	13	負債③（入門・基礎）
	14	純資産会計①（入門・基礎）
	15	純資産会計②（入門・基礎）
	16	純資産会計③（入門・基礎）
	17	企業結合会計①（入門・基礎）
	18	企業結合会計②（入門・基礎）
	19	企業結合会計③（入門・基礎）
	20	事業分離会計①（入門・基礎）
	21	事業分離会計②（入門・基礎）
	22	事業分離会計③（入門・基礎）
	23	四半期財務諸表①（入門・基礎）
	24	四半期財務諸表②（入門・基礎）
	25	ヘッジ会計①（入門・基礎）
	26	ヘッジ会計②（入門・基礎）
	27	包括利益①（入門・基礎）
	28	包括利益②（入門・基礎）
	29	包括利益③（入門・基礎）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	180時間		
授業回数	90回		
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①（入門編）	46 純資産会計Ⅱ②（入門編）
	2	本支店会計Ⅰ②（入門編）	47 有価証券Ⅱ①（入門編）
	3	本支店会計Ⅰ③（入門編）	48 有価証券Ⅱ②（入門編）
	4	本支店会計Ⅰ④（入門編）	49 外貨建会計Ⅱ①（入門編）
	5	本支店会計Ⅰ⑤（入門編）	50 外貨建会計Ⅱ②（入門編）
	6	本支店会計Ⅰ⑥（入門編）	51 リース会計Ⅱ①（入門編）
	7	組織再編会計Ⅰ①（入門編）	52 リース会計Ⅱ②（入門編）
	8	組織再編会計Ⅰ②（入門編）	53 試用販売Ⅱ①（入門編）
	9	組織再編会計Ⅰ③（入門編）	54 試用販売Ⅱ②（入門編）
	10	組織再編会計Ⅰ④（入門編）	55 割賦販売Ⅱ①（入門編）
	11	建設業会計Ⅰ①（入門編）	56 割賦販売Ⅱ②（入門編）
	12	建設業会計Ⅰ②（入門編）	57 未着品販売Ⅱ①（入門編）
	13	連結会計Ⅰ①（入門編）	58 未着品販売Ⅱ②（入門編）
	14	連結会計Ⅰ②（入門編）	59 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編）
	15	連結会計Ⅰ③（入門編）	60 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編）
	16	連結会計Ⅰ④（入門編）	61 本支店会計Ⅱ①（入門編）
	17	製造業会計Ⅰ①（入門編）	62 本支店会計Ⅱ②（入門編）
	18	製造業会計Ⅰ②（入門編）	63 組織再編会計Ⅱ①（入門編）
	19	製造業会計Ⅰ③（入門編）	64 組織再編会計Ⅱ②（入門編）
	20	製造業会計Ⅰ④（入門編）	65 連結会計Ⅱ①（入門編）
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）	66 連結会計Ⅱ②（入門編）
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）	67 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編）
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）	68 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編）
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）	69 項目別答練①（入門編）
	25	繰延資産Ⅰ①（入門編）	70 項目別答練②（入門編）
	26	繰延資産Ⅰ②（入門編）	71 項目別答練③（入門編）
	27	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）	72 項目別答練④（入門編）
	28	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）	73 項目別答練⑤（入門編）
	29	ストック・オプションⅠ①（入門編）	74 項目別答練⑥（入門編）
	30	ストック・オプションⅠ②（入門編）	75 基礎答練①（入門編）
	31	現金預金Ⅱ①（入門編）	76 基礎答練②（入門編）
	32	債権債務Ⅱ①（入門編）	77 基礎答練③（入門編）
	33	商品売買Ⅱ①（入門編）	78 応用答練①（入門編）
	34	商品売買Ⅱ②（入門編）	79 応用答練②（入門編）
	35	商品売買Ⅱ③（入門編）	80 応用答練③（入門編）
	36	固定資産Ⅱ①（入門編）	81 過去問演習①（入門編）
	37	固定資産Ⅱ②（入門編）	82 過去問演習②（入門編）
	38	退職給付会計Ⅱ①（入門編）	83 過去問演習③（入門編）
	39	退職給付会計Ⅱ②（入門編）	84 過去問演習④（入門編）
	40	債権債務Ⅱ①（入門編）	85 過去問演習⑤（入門編）
	41	債権債務Ⅱ②（入門編）	86 問題演習実践①（入門編）
	42	税金Ⅱ①（入門編）	87 問題演習実践②（入門編）
	43	社債Ⅱ①（入門編）	88 問題演習実践③（入門編）
	44	社債Ⅱ②（入門編）	89 問題演習実践④（入門編）
	45	純資産会計Ⅱ①（入門編）	90 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	180時間		
授業回数	90回		
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	46 総合問題対策③（入門・基礎）
	2	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	47 総合問題対策④（入門・基礎）
	3	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	48 総合問題対策④（入門・基礎）
	4	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	49 総合問題対策⑤（入門・基礎）
	5	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	50 総合問題対策⑤（入門・基礎）
	6	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	51 総合問題対策⑥（入門・基礎）
	7	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	52 総合問題対策⑥（入門・基礎）
	8	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	53 総合問題対策⑦（入門・基礎）
	9	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	54 総合問題対策⑦（入門・基礎）
	10	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	55 総合問題対策⑧（入門・基礎）
	11	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	56 総合問題対策⑧（入門・基礎）
	12	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	57 総合問題対策⑨（入門・基礎）
	13	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	58 総合問題対策⑨（入門・基礎）
	14	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	59 総合問題対策⑩（入門・基礎）
	15	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	60 総合問題対策⑩（入門・基礎）
	16	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	61 総合問題対策⑪（入門・基礎）
	17	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	62 総合問題対策⑪（入門・基礎）
	18	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	63 総合問題対策⑫（入門・基礎）
	19	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	64 総合問題対策⑫（入門・基礎）
	20	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	65 総合問題対策⑬（入門・基礎）
	21	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	66 総合問題対策⑬（入門・基礎）
	22	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	67 総合問題対策⑭（入門・基礎）
	23	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	68 総合問題対策⑭（入門・基礎）
	24	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	69 総合問題対策⑮（入門・基礎）
	25	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	70 総合問題対策⑮（入門・基礎）
	26	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	71 総合問題対策⑯（入門・基礎）
	27	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	72 総合問題対策⑯（入門・基礎）
	28	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	73 総合問題対策⑰（入門・基礎）
	29	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	74 総合問題対策⑰（入門・基礎）
	30	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	75 総合問題対策⑱（入門・基礎）
	31	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	76 総合問題対策⑱（入門・基礎）
	32	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	77 総合問題対策⑲（入門・基礎）
	33	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	78 総合問題対策⑲（入門・基礎）
	34	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	79 総合問題対策⑳（入門・基礎）
	35	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	80 総合問題対策⑳（入門・基礎）
	36	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	81 総合問題対策㉑（入門・基礎）
	37	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	82 総合問題対策㉑（入門・基礎）
	38	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	83 総合問題対策㉒（入門・基礎）
	39	財務諸表論総まとめ㉒（入門・基礎）	84 総合問題対策㉒（入門・基礎）
	40	財務諸表論総まとめ㉒（入門・基礎）	85 総合問題対策㉓（入門・基礎）
	41	総合問題対策①（入門・基礎）	86 総合問題対策㉓（入門・基礎）
	42	総合問題対策①（入門・基礎）	87 総合問題対策㉔（入門・基礎）
	43	総合問題対策②（入門・基礎）	88 総合問題対策㉔（入門・基礎）
	44	総合問題対策②（入門・基礎）	89 模擬試験（計算）
	45	総合問題対策③（入門・基礎）	90 模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％ 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理実務Ⅲ		
実務家教員	○		
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	演習及び実習（実務経験のある教員による授業科目です）		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	経理実務で必要となる業務内容の概要を体系的に学び、帳票書類についての知識の基礎を習得する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム（基礎）	
	2	小切手・手形の実務上のポイント（基礎）	
	3	入出金伝票と現金出納帳（基礎）	
	4	当座預金出納帳と手形記入帳（基礎）	
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分（基礎）	
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（基礎）	
	7	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（基礎）	
	8	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎①）	
	9	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎②）	
	10	個人住民税の徴収及び納付（基礎）	
	11	印紙税の基礎知識（基礎）	
	12	受取利息の会計処理（基礎）	
	13	消費税法の概要（基礎）	
	14	消費税の会計処理（基礎）	
	15	確認テスト	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	2 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（初級）	31	総合理論対策1（初級）
	2	交付要求及び督促時効（初級）	32	総合理論対策2（初級）
	3	参加差押え（初級）	33	総合理論対策3（初級）
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級）	34	総合理論対策4（初級）
	5	換価配当（初級）	35	総合理論対策5（初級）
	6	担保のための仮登記（初級）	36	総合理論対策6（初級）
	7	物上代位権との調整（初級）	37	総合理論対策7（初級）
	8	納期限未到来の納税の猶予（初級）	38	総合理論対策8（初級）
	9	災害等による一般の納税の猶予（初級）	39	総合理論対策9（初級）
	10	換価の猶予（初級）	40	総合問題演習1（初級）
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級）	41	総合問題演習1（初級）
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮（初級）	42	総合問題演習2（初級）
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級）	43	総合問題演習2（初級）
	14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級）	44	総合問題演習3（初級）
	15	国税の担保（初級）	45	総合問題演習3（初級）
	16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級）		
	17	保全措置（初級）		
	18	滞納処分の停止（初級）		
	19	納付委託・弁済委託（初級）		
	20	第二次納税義務（通則）（初級）		
	21	第二次納税義務（人的限度）（初級）		
	22	第二次納税義務（物的限度）（初級）		
	23	不服申立（初級）		
	24	滞納処分費（初級）		
	25	納付義務の承継（初級）		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度（初級）		
	27	増額登記（初級）		
	28	質権の証明と優先権行使の否認（初級）		
	29	国税徴収法第26条準用（初級）		
	30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（初級）		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト 3 回分の平均点100%			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	2 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策①(初級編)	31	総合問題対策⑳(初級編)
	2	総合問題対策②(初級編)	32	総合問題対策㉑(初級編)
	3	総合問題対策③(初級編)	33	総合問題対策㉒(初級編)
	4	総合問題対策④(初級編)	34	総合問題対策㉓(初級編)
	5	総合問題対策⑤(初級編)	35	総合問題対策㉔(初級編)
	6	総合問題対策⑥(初級編)	36	総合問題演習①(初級編)
	7	総合問題対策⑦(初級編)	37	総合問題演習①(初級編)
	8	総合問題対策⑧(初級編)	38	総合問題演習②(初級編)
	9	総合問題対策⑨(初級編)	39	総合問題演習②(初級編)
	10	総合問題対策⑩(初級編)	40	総合問題演習③(初級編)
	11	総合問題対策⑪(初級編)	41	総合問題演習③(初級編)
	12	総合問題対策⑫(初級編)	42	総合問題演習④(初級編)
	13	総合問題対策⑬(初級編)	43	総合問題演習④(初級編)
	14	総合問題対策⑭(初級編)	44	総合問題演習⑤(初級編)
	15	総合問題対策⑮(初級編)	45	総合問題演習⑤(初級編)
	16	総合問題対策⑯(初級編)		
	17	総合問題対策㉑(初級編)		
	18	総合問題対策⑱(初級編)		
	19	総合問題対策⑲(初級編)		
	20	総合問題対策㉒(初級編)		
	21	総合問題対策㉓(初級編)		
	22	総合問題対策㉔(初級編)		
	23	総合問題対策㉕(初級編)		
	24	総合問題対策㉖(初級編)		
	25	総合問題対策㉗(初級編)		
	26	総合問題対策㉘(初級編)		
	27	総合問題対策㉙(初級編)		
	28	総合問題対策㉚(初級編)		
	29	総合問題対策㉛(初級編)		
	30	総合問題対策㉜(初級編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論 5 回分の平均点100%			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論入門Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（基礎編）	
	2	簿記の概要Ⅰ②（基礎編）	
	3	簿記の概要Ⅰ③（基礎編）	
	4	簿記の概要Ⅰ④（基礎編）	
	5	現金預金Ⅰ①（基礎編）	
	6	現金預金Ⅰ②（基礎編）	
	7	現金預金Ⅰ③（基礎編）	
	8	債権債務Ⅰ①（基礎編）	
	9	債権債務Ⅰ②（基礎編）	
	10	商品売買Ⅰ①（基礎編）	
	11	商品売買Ⅰ②（基礎編）	
	12	商品売買Ⅰ③（基礎編）	
	13	給料等Ⅰ①（基礎編）	
	14	給料等Ⅰ②（基礎編）	
	15	確認テスト	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	会計学の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎）	
	2	個別注記表（基礎）	
	3	現金及び預金（基礎）	
	4	債権債務（基礎）	
	5	関係会社概念（基礎）	
	6	売上原価の算定（基礎）	
	7	貸倒れ（基礎）	
	8	給料等（基礎）	
	9	その他の引当金（基礎）	
	10	退職給付会計（基礎）	
	11	有形固定資産（基礎）	
	12	無形固定資産（基礎）	
	13	株主資本（基礎）	
	14	財務諸表論の基礎概念（基礎）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法入門Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス	
	2	課税の対象①（初級編）	
	3	課税の対象②（初級編）	
	4	課税の対象③（初級編）	
	5	課税の対象④（初級編）	
	6	非課税①（初級編）	
	7	非課税②（初級編）	
	8	非課税③（初級編）	
	9	非課税④（初級編）	
	10	輸出免税等①（初級編）	
	11	輸出免税等②（初級編）	
	12	輸出免税等③（初級編）	
	13	輸出免税等④（初級編）	
	14	資産の譲渡等の時期（初級編）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法入門Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス	
	2	相続税法の概要（基礎）	
	3	相続税法と民法（基礎）	
	4	相続人、代襲相続（基礎）	
	5	養子の子の取扱い（基礎）	
	6	相続の承認と放棄（基礎）	
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）	
	8	遺言による財産の取得（基礎）	
	9	相続税の納税義務者（基礎）	
	10	生命保険金等（基礎）	
	11	相続税の非課税財産（基礎）	
	12	相続税額の計算方法（基礎）	
	13	生命保険金等の非課税金額（基礎）	
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法入門Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス（中級）	
	2	納税義務者（中級）	
	3	課税所得の範囲（中級）	
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）	
	5	減価償却Ⅰ（中級）	
	6	減価償却Ⅱ（中級）	
	7	減価償却Ⅲ（中級）	
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）	
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）	
	10	租税公課等（中級）	
	11	納税充当金Ⅰ（中級）	
	12	納税充当金Ⅱ（中級）	
	13	別表四の作成（中級）	
	14	事業年度（中級）	
	15	確認テスト（理論）	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論基礎Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	120時間		
授業回数	60回		
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（基礎編）	31 外貨建会計Ⅰ⑤（基礎編）
	2	税効果会計Ⅰ②（基礎編）	32 外貨建会計Ⅰ⑥（基礎編）
	3	税効果会計Ⅰ③（基礎編）	33 リース会計Ⅰ①（基礎編）
	4	税効果会計Ⅰ④（基礎編）	34 リース会計Ⅰ②（基礎編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（基礎編）	35 リース会計Ⅰ③（基礎編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（基礎編）	36 リース会計Ⅰ④（基礎編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（基礎編）	37 リース会計Ⅰ⑤（基礎編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（基礎編）	38 リース会計Ⅰ⑥（基礎編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（基礎編）	39 試用販売Ⅰ①（基礎編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（基礎編）	40 試用販売Ⅰ②（基礎編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（基礎編）	41 試用販売Ⅰ③（基礎編）
	12	保険金Ⅰ①（基礎編）	42 試用販売Ⅰ④（基礎編）
	13	保険金Ⅰ②（基礎編）	43 試用販売Ⅰ⑤（基礎編）
	14	保険金Ⅰ③（基礎編）	44 試用販売Ⅰ⑥（基礎編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）	45 割賦販売Ⅰ①（基礎編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）	46 割賦販売Ⅰ②（基礎編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）	47 割賦販売Ⅰ③（基礎編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）	48 割賦販売Ⅰ④（基礎編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）	49 割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（基礎編）	50 割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）
	21	減損会計Ⅰ①（基礎編）	51 未着品販売Ⅰ①（基礎編）
	22	減損会計Ⅰ②（基礎編）	52 未着品販売Ⅰ②（基礎編）
	23	減損会計Ⅰ③（基礎編）	53 未着品販売Ⅰ③（基礎編）
	24	減損会計Ⅰ④（基礎編）	54 未着品販売Ⅰ④（基礎編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（基礎編）	55 委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（基礎編）	56 委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（基礎編）	57 委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（基礎編）	58 委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（基礎編）	59 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（基礎編）	60 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択履修必須			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業コマ数	60回			
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（基礎）	31	ゴルフ会員権（基礎）
	2	満期保有目的の債券（基礎）	32	売価還元法（基礎）
	3	子会社株式・関連会社株式（基礎）	33	製造業会計（基礎）
	4	その他有価証券（基礎）	34	研究開発費（基礎）
	5	ソフトウェア（基礎）	35	新株予約権（基礎）
	6	法人税等・追徴還付（基礎）	36	キャッシュ・フロー計算書（基礎）
	7	現在価値計算（基礎）	37	損益計算書総論（基礎）
	8	社債（基礎）	38	貸借対照表総論（基礎）
	9	利益剰余金（基礎）	39	資産総論（基礎）
	10	自己株式（基礎）	40	棚卸資産に関する会計基準（基礎）
	11	配当（基礎）	41	連続意見書（基礎）
	12	外形基準、租税公課（基礎）	42	引当金（基礎）
	13	源泉所得税、社会保険料（基礎）	43	会計観（基礎）
	14	税効果会計（基礎）	44	金融商品（基礎）
	15	税効果注記（基礎）	45	純資産会計①（基礎）
	16	源泉所得税、社会保険料（基礎）	46	純資産会計②（基礎）
	17	株主資本等変動計算書（基礎）	47	純資産会計③（基礎）
	18	減損会計（基礎）	48	純資産会計④（基礎）
	19	配当を受けた株主の処理（基礎）	49	純資産会計⑤（基礎）
	20	圧縮記帳（基礎）	50	企業結合会計①（基礎）
	21	外貨建取引（基礎）	51	企業結合会計②（基礎）
	22	退職給付会計簡便法（基礎）	52	企業結合会計③（基礎）
	23	繰延資産（基礎）	53	企業結合会計④（基礎）
	24	為替予約（基礎）	54	企業結合会計⑤（基礎）
	25	仕入・売上げの計上基準（基礎）	55	事業分離会計①（基礎）
	26	消費税等（基礎）	56	事業分離会計②（基礎）
	27	他勘定振替（基礎）	57	事業分離会計③（基礎）
	28	外貨建有価証券（基礎）	58	事業分離会計④（基礎）
	29	リース会計（基礎）	59	事業分離会計⑤（基礎）
	30	証券投資信託（基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択履修必須			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業コマ数	60回			
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①（初級編）	31	納税義務の免除①（初級編）
	2	控除対象仕入税額②（初級編）	32	納税義務の免除②（初級編）
	3	控除対象仕入税額③（初級編）	33	納税義務の免除③（初級編）
	4	控除対象仕入税額④（初級編）	34	納税義務の免除④（初級編）
	5	控除対象仕入税額⑤（初級編）	35	納税義務の免除⑤（初級編）
	6	控除対象仕入税額⑥（初級編）	36	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（初級編）	37	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（初級編）	38	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	9	貸倒れが生じた場合①（初級編）	39	国境を越えた役務の提供④（初級編）
	10	貸倒れが生じた場合②（初級編）	40	国境を越えた役務の提供⑤（初級編）
	11	課税仕入れの範囲①（初級編）	41	中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
	12	課税仕入れの範囲②（初級編）	42	中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
	13	課税仕入れの範囲③（初級編）	43	課税仕入れ等の分類①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲④（初級編）	44	課税仕入れ等の分類②（初級編）
	15	課税仕入れ等の時期①（初級編）	45	課税仕入れ等の分類③（初級編）
	16	課税仕入れ等の時期②（初級編）	46	課税仕入れ等の分類④（初級編）
	17	課税仕入れ等の時期③（初級編）	47	課税仕入れ等の分類⑤（初級編）
	18	課税仕入れ等の時期④（初級編）	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編）
	19	課税売上割合①（初級編）	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編）
	20	課税売上割合②（初級編）	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編）
	21	課税売上割合③（初級編）	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	22	課税売上割合④（初級編）	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	23	課税売上割合⑤（初級編）	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
	24	課税売上割合⑥（初級編）	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
	25	課税期間における課税売上高①（初級編）	55	納税義務の免除の特例①（初級編）
	26	課税期間における課税売上高②（初級編）	56	納税義務の免除の特例②（初級編）
	27	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）	57	納税義務の免除の特例③（初級編）
	28	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）	58	納税義務の免除の特例④（初級編）
	29	仕入れに係る対価の返還等①（初級編）	59	納税義務の免除の特例⑤（初級編）
	30	仕入れに係る対価の返還等②（初級編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択履修必須			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	120時間			
授業コマ数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
	2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
	4	相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎）	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
	5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
	6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
	7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
	8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
	9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
	10	特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎）	40	取引相場のない株式③（基礎）
	11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
	12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
	13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
	14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
	16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
	17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
	18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
	20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎）	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
	21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
	22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
	23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
	24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
	25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
	26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
	27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
	28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 4回分の平均点100%			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法基礎Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	120時間		
授業コマ数	60回		
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
	3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33 みなし配当金Ⅰ（基礎）
	4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34 みなし配当金Ⅱ（基礎）
	5	欠損金Ⅰ（基礎）	35 資本等取引Ⅰ（基礎）
	6	欠損金Ⅱ（基礎）	36 資本等取引Ⅱ（基礎）
	7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37 交換差益Ⅰ（基礎）
	8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38 交換差益Ⅱ（基礎）
	9	有価証券Ⅰ（基礎）	39 交換差益Ⅲ（基礎）
	10	有価証券Ⅱ（基礎）	40 別表五(二)Ⅰ（基礎）
	11	収用等Ⅰ（基礎）	41 別表五(二)Ⅱ（基礎）
	12	収用等Ⅱ（基礎）	42 別表五(二)Ⅲ（基礎）
	13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43 別表五(二)Ⅳ（基礎）
	14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44 リース取引Ⅰ（基礎）
	15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45 リース取引Ⅱ（基礎）
	16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46 リース取引Ⅲ（基礎）
	17	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）	47 リース取引Ⅳ（基礎）
	18	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）	48 繰延資産Ⅰ（基礎）
	19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49 繰延資産Ⅱ（基礎）
	20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50 繰延資産Ⅲ（基礎）
	21	役員判定Ⅰ（基礎）	51 繰延資産Ⅳ（基礎）
	22	役員判定Ⅱ（基礎）	52 確定決算型Ⅰ（基礎）
	23	役員給与Ⅰ（基礎）	53 確定決算型Ⅱ（基礎）
	24	役員給与Ⅱ（基礎）	54 確定決算型Ⅲ（基礎）
	25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55 確定決算型Ⅳ（基礎）
	26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56 グループ法人税制Ⅰ（基礎）
	27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57 グループ法人税制Ⅱ（基礎）
	28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58 資産の評価損益（基礎）
	29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59 保険料（基礎）
	30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論基礎Ⅳ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	固定資産Ⅰ①（基礎編）	
	2	固定資産Ⅰ②（基礎編）	
	3	ソフトウェアⅠ①（基礎編）	
	4	債権債務Ⅰ①（基礎編）	
	5	貸倒れⅠ①（基礎編）	
	6	退職給付会計Ⅰ①（基礎編）	
	7	退職給付会計Ⅰ②（基礎編）	
	8	税金Ⅰ①（基礎編）	
	9	社債Ⅰ①（基礎編）	
	10	社債Ⅰ②（基礎編）	
	11	純資産会計Ⅰ①（基礎編）	
	12	純資産会計Ⅰ②（基礎編）	
	13	有価証券Ⅰ①（基礎編）	
	14	有価証券Ⅰ②（基礎編）	
	15	確認テスト	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎）	
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎）	
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（基礎）	
	4	分配可能額①（基礎）	
	5	分配可能額②（基礎）	
	6	ストック・オプション①（基礎）	
	7	ストック・オプション②（基礎）	
	8	ストック・オプション③（基礎）	
	9	セール&リースバック①（基礎）	
	10	セール&リースバック②（基礎）	
	11	財務諸表等規則①（基礎）	
	12	財務諸表等規則②（基礎）	
	13	負債①（基礎）	
	14	負債②（基礎）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法基礎Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）	
	2	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）	
	3	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）	
	4	課税標準①（初級編）	
	5	課税標準②（初級編）	
	6	課税標準③（初級編）	
	7	課税標準④（初級編）	
	8	簡易課税制度①（初級編）	
	9	簡易課税制度②（初級編）	
	10	簡易課税制度③（初級編）	
	11	簡易課税制度④（初級編）	
	12	簡易課税制度⑤（初級編）	
	13	簡易課税制度⑥（初級編）	
	14	簡易課税制度⑦（初級編）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法基礎Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎）	
	2	上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）	
	3	宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎）	
	4	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）	
	5	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）	
	6	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）	
	7	贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎）	
	8	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）	
	9	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）	
	10	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）	
	11	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）	
	12	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）	
	13	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）	
	14	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）	
	15	確認テスト(理論)	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法基礎Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	税理士・ビジネス学科 税理士コース		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択履修必須		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	設立事業年度（応用）	
	2	組織再編税制（応用）	
	3	工事の請負（応用）	
	4	修正申告（応用）	
	5	税効果会計（応用）	
	6	賃上げ・投資促進税制（応用）	
	7	スピンオフ税制（応用）	
	8	特定同族会社の特別税率（応用）	
	9	適用除外事業者（応用）	
	10	地方法人税（応用）	
	11	外国子会社配当（応用）	
	12	借地権等（応用）	
	13	償還差損益（応用）	
	14	未収還付税金（応用）	
	15	確認テスト（理論）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			